東大阪文化財を学ぶ会　２０２３年度総会　　於: 市役所展望レストラン　２０２３．７．４

１．会長挨拶

２．２０２２年度活動報告、２０２２年度決算報告並びにバスツアー会計報告

＊活動報告　歴史探訪　バスツアー含め 10 回実施　参加者　延べ約 409 名　古代史講座 10 回実施　参加者延べ約.236 名　22 年度総会と講演会　27 名

＊本会計決算　詳しくは別紙参照

収入　繰越金 328,313 円　年会費 300,000 円など　計 661,115 円

支出　講師料（古代史講座）65000　通信費、事務経費など　計 351,134 円

次年度繰越　309,981 円

＊バス会計

①6/24　湖東方面　　②12/6　播州方面　　③3/29　湖北方面

バスツアー残金合計　※23年度バスツアーに、何かしらの補助に使う（詳しくは別紙参照）

３．２０２３年度活動例会予定　別紙参照

歴史探訪・フィールドワーク、古代史講座

４．２０２３年度　役員（案）　　（敬称略）

会　長（１名）　南　光弘　　副会長（１名）西田　豁洋　　相談役（２名）　田村　實　　並松　晃

幹　事（６名）　後藤　政雄　　小笠　浩二　　庄司　藤雄　　秋山　喜昭　　奥林　久一　中野 昭雄

会　計（２名）　榎本　晴代　　府道　眞知子　　会計監査（２名）　西山　郁子　小笠　浩二

５．現状と課題

①例会参加者　フィールドワーク、バスツアー常に３０～４０名の参加　古代史講座　２０～３０名の参加

②会員数　　本年度年会費納入者　１２１名　（７／４現在）

③活動課題

提案　2024 年度に、町歩き「わくわく　地域　昔（むかし）さがし」

例会とは別に 1～2回　一般市民対象に市内の史跡をめぐるフィールドワーク（1～2中学校区単位）を実施したい。費用は、地域まちづくり助成金を申請

６．本年度の運営方針（案）

①フィールドワーク、古代史講座、ミニ探訪＆サロン　　、学習会を主催し本会の事業目的に資する。

・会報「かわち野に吹く風」は、月１回の発行を目処とする。

例会の案内、史跡遺跡見学レジメ、会員の皆さんからの見学記・**エッセイなどの寄稿文**を掲載する

・バスツアーは事前に申し込み、ミニ探訪＆サロンは、本会員個人による史跡、資料館見学の呼びかけに応じて参加する。日時、見学場所、見学内容、集合場所を会報、ホームページ上に公開して参加を募る

②各担当スタッフと役割

・歴史探訪　企画立案、下見、案内・解説。下見は、月例担当者と会長と若干名

・会報担当　会報の編集、歴史探訪レジメの作成　・「ミニ探訪＆サロン」の窓口

・会計担当　会費の徴収と管理、会計事務、監査　・文書印刷・発送、封筒印刷　・会員名簿管理、宛名印刷

７．担当スタッフ（案）

・文書印刷・発送、封筒印刷　庄司　藤雄

歴史探訪　　西田　豁洋　後藤　政雄　小笠　浩二　庄司　藤雄　　秋山　喜昭　清水　常男　　奥林　久一

・古代史講座　　府道　眞知子　河野　邦子

・会報・広報　　中野 昭雄（写真撮影）　南　光弘（会報作成、ホームページ）

・ミニ探訪＆サロン　府道　眞知子　庄司　藤雄

・河内の郷土文化サークル　府道　眞知子　　（敬称略）

※　例会開催時の役割、

会長（副会長）挨拶、担当者からの話、終了後、参加者からの声を聞く。

終わりに、会長（副会長）のまとめ

８．追記

・例会、講演会場内では、出版物の販売、他団体の催し物の案内配布については、会長の承諾を得る。

・会員は、本規約にあるように隣接する地域の文化、歴史に関心を寄せ、古に学び、現代に学び絶えず交流することで、歴史の中の真実を探求する姿勢を持ち続けたい。そのことが個人の尊重、尊厳さを大切にされた市民社会につながるものと考える。　以上